

ふるさと伝承科Aグループ研修日帰り旅行記

11月21日(金)ふるさと伝承科Aグループは研修日帰り旅行を行いました。メンバーの内1名は都合で参加できませんでしたが11名の参加で、朝9時熊谷駅東口に集合、3台の車に分乗して、足利市の「足利学校」へ向かいました。小春日和の暖かい日で、丁度、「足利の文化財一斉公開」が行われ、また足利学校は「学校さままつり」期間中に入場無料など、非常にラッキーな小旅行が楽しめました。



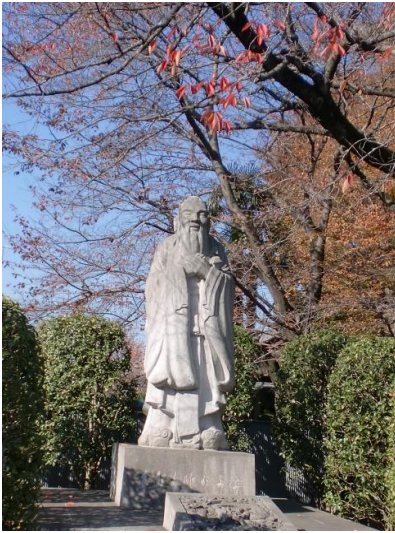
足利学校「学校門」前にてふるさと伝承科Aグループ



事前予約が必要なボランティアガイドさんに、今日は特別に予約なしで説明をして頂きました。



足利学校の「学校門」前にて説明を聞く。
ガイドさんからの足利学校の三つの門は？
この質問の答えは・・・
「入徳門」「学校門」「杏壇門」



日本最古の学校と云われる「足利学校」の創建は諸説あり定かではないが、室町時代に上杉憲実が、学校を再興したころから明確となっている。
大成殿は孔子廟と呼ばれ、中国明時代の聖廟を模して造られている。
1549年にはザビエルにより「日本国中最大にして、最も有名な坂東の大学」と世界に紹介されているとのこと。

孔子像



樹齢100年を超える「不断梅」 青い実が黒くなり、冬まで実が落ちない梅



「大成殿」前で説明を聞くメンバー



「学校門」と黄葉した見事な銀杏

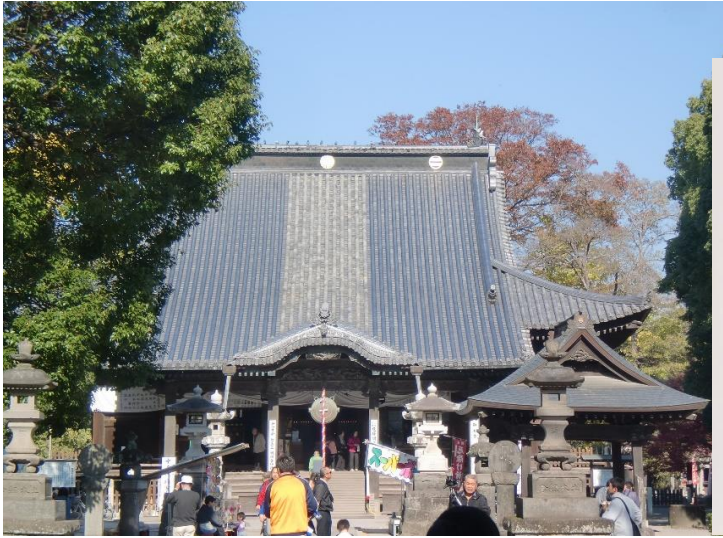


足利学校「衆寮」(学生の勉強や生活の場所)
こんな静かな場所なら勉強できるかな？
自分には静かすぎて、かえってダメかな



孔子廟(大成殿) 1668年(寛文8年)建立で内部に孔子座像(日本最古の孔子彫像)がある。

足利学校を見学した後、鏝阿寺(ばんなじ)という足利氏宅跡で真言宗大日派の本山のお寺に向かいました。
小春日和の暖かい日で、歩いていると暑くなるほどの良い天気でした。



国 宝
鏝阿寺本堂(大御堂)

鎌倉時代初期、建久七年(一一九六)に足利義兼建立。正安元年(二二九九)再建。本尊は源氏相伝の守本尊、大日如来。建築は構造雄大、手法剛健、本瓦葺唐様と和様を加味した折衷の代表的な建物で室内の柱、天井、厨子等の価値は高い。

明治四十一年 国宝に指定され昭和八年より二年間、解体修理を文部省の指導の下 実施した。

戦後、法令改正により重要文化財となる。平成二十五年八月、国宝に指定される。境内に山門、鐘楼、不動堂、一切経堂多宝塔、御霊殿等の七堂伽藍を備えた東国の密教の代表的な寺である。

創建以来、幸い火災にあわず多数の重要文化財を蔵している。

開基、義兼七世の孫は足利尊氏にして京都室町に幕府を構え、幕府は十五代二百三十年つづいた。

大祭は五月三、四、五日、十一月三、四日初詣、節分鑽年越し等、厄除・開運の祈願寺として参拝者が多い。

真言宗大本山
金剛山 鏝阿寺

国宝の鏝阿(ばんな)寺 大御堂(本堂)



天然記念物
大銀杏

開基足利義兼の手植と称しているが鎌倉時代末期正和年間(一一三〇)の当山の古地図には載っていない。樹齢約五百五十年といわれる。故二好い樹の鑑定によれば江戸時代に既に存在していた。於て大日和米のお堂を前にして青年男女の合いが行われ縁結びの御神水とされている。

目通り周囲九米、高さ約三十米。諸堂の災厄を守護した。最近樹勢どみに家々家庭の愛護を切に望む。

真言宗大本山 鏝阿寺

鏝阿寺多宝塔と紅葉と黄葉の見事なコントラスト!

天然記念物「大銀杏」樹齢約550年



昼食場所は「なか川」



昼食場所へ向かう三美女



「なか川」にて昼食(にしんそば)を食べてしばし休息



午後は栗田美術館へ移動

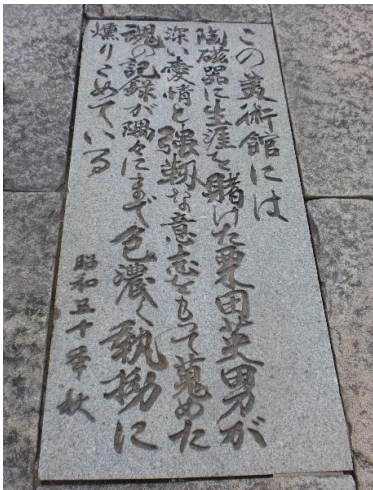
ここでもイベント中ということで通常1250円の
入場料が半額以下の500円！ラッキー！！



栗田美術館 本館



美術館庭にて休息(少々お疲れかな・・・)



入場料半額で浮いた予算で、
喫茶店でウィンナコーヒー
を飲んで、しばし談笑。



最後に「登り窯」を見学

今回の小旅行は、お天気に恵まれ、紅葉も(特に銀杏の黄葉)素晴らしいものが見られ、久々にAグループで集まって
楽しい一日が過ごせました。企画して頂いた吉田さんありがとうございました。

次回は2015年6月13日能護寺のご開帳に合わせて会いましょう。

皆が健康で元気であることが一番重要です。健康には気を付けましょう！！

記: 加藤治朗